

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 10 月 26 日(2022.10.26)

【公開番号】特開 2021-92245(P2021-92245A)

【公開日】令和 3 年 6 月 17 日(2021.6.17)

【年通号数】公開・登録公報 2021-027

【出願番号】特願 2019-222076(P2019-222076)

【国際特許分類】

F 1 6 F 15/123(2006.01)

F 1 6 D 13/64(2006.01)

F 1 6 F 15/129(2006.01)

10

【F I】

F 1 6 F 15/123 D

F 1 6 D 13/64 A

F 1 6 D 13/64 G

F 1 6 F 15/123 A

F 1 6 F 15/123 B

F 1 6 F 15/129 C

20

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 18 日(2022.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(3) 好ましくは、凸状当接面は凸状の球面の一部であり、凹状当接面は、凹状の球面の一部である。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

図 1 は、本発明の一実施形態によるダンパ装置を有するクラッチディスク組立体の断面図である。図 1 の O - O 線は、クラッチディスク組立体 1 の回転軸線である。このクラッチディスク組立体 1 は、図 1 の左側に配置されるエンジン及びフライホイールからのトルクを、図 1 の右側に配置されるトランスミッションに伝達し、かつトルク変動を減衰する。また、図 2 はクラッチディスク組立体 1 の正面部分図である。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

なお、図 2 では、リテンションプレート 25 を示しているが、各保持部 24a, 24b, 25a, 25b に関しては、逆側に配置されたクラッチプレート 24 も同様の構成である。また、図 2 では、リテンションプレート 25 の一部を破断して示している。

50

【 手 続 補 正 ４ 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 ０ ０ ６ ６

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 ０ ０ ６ ６ 】

さらに、第 1 摩擦ワッシャ 5 1 の外周面とサブプレート 3 4 の内周面との径方向隙間は、クラッチプレート 2 4 の内周面とボス 4 1 の外周面との径方向隙間よりも大きく設定されている。したがって、第 1 摩擦ワッシャ 5 1 の外周面がサブプレート 3 4 の内周面と接触して発熱するのを抑えることができる。

10

20

30

40

50